

ヒスタミン簡易測定キット

チェックカラー ヒスタミン

生魚中のヒスタミンが、簡単、迅速に測定できます。



システムの特徴

ヒスタミン抽出が簡単：抽出用溶液で希釈後加熱してヒスタミンを抽出。

測定操作が簡単：検液と試薬を混合し15分後に測定。

手のひらサイズの吸光光度計が利用可能。

試薬キット

チェックカラー ヒスタミン

商品コード: 60441 60回測定用 (2~8℃保存)

酵素	6本
発色試薬	6本
標準液	1本
緩衝液	3本

測定原理

ヒスタミン $\xrightarrow{\text{ヒスタミンデヒドロゲナーゼ}}$ **発色**

1-Methoxy PMS, テトラゾリウム塩

本測定は、ヒスタミンにヒスタミンデヒドロゲナーゼを作用させることで生じる発色反応を測定することにより、ヒスタミン濃度を定量します。

測定条件

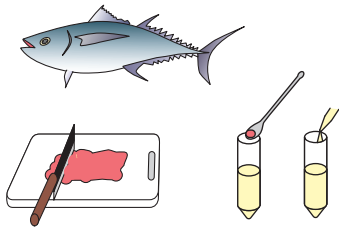
検出下限 0.4ppm (吸光度計Bを用いた場合)

*生魚中の測定下限は、25倍希釈するため10ppmとなります。

反応時間 15分

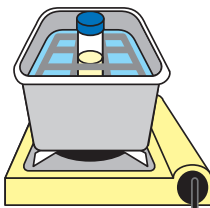
操作手順 (生魚の場合)

1 ホモジナイズ



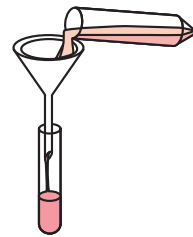
魚肉をミンチにします。ミンチ魚肉1g、抽出用溶液 24mLを加え、攪拌します。
(抽出用溶液は、キットには含まれておりません。)

2 抽出



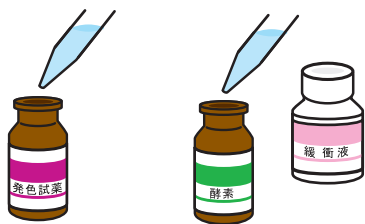
沸騰湯浴中で20分加熱処理を行います。
その後冷水等で冷却します。

3 ろ過



ろ紙でろ過し、検液とします。

4 試薬の準備



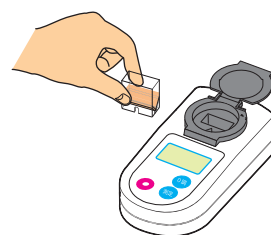
発色試薬を蒸留水で、酵素試薬を緩衝液で、溶解します。

5 反応



検液および各種試薬類をチューブに0.5mLずつ分注し、遮光下で37°C、15分加温します。

6 測定



各チューブの反応液の470nmにおける吸光度を測定し、計算式に当てはめてヒスタミン濃度を求めます。



操作動画はこちらから

ご注意

- この試薬は、自主衛生検査・研究用途以外の目的に使用することは出来ません。
- この測定には、本キット、吸光度計以外にマイクロピペット等の器具やEDTA溶液が必要です。
- ヒスタミンはガラスに吸着し易いため、チューブ等はプラスチック製をお使いください。
- 本キットは生魚用のヒスタミン測定キットですが、前処理方法を変えることにより、生魚以外のサンプルにも適応可能な場合もございます。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。弊社までお問合せください。



チェックカラーヒスタミンの詳細は、こちらのQRコードから

推奨測定器

吸光度計 B (型式 ABS-B 470)

測定器に関するお問い合わせ先：
株式会社共立理化学研究所 Tel 03-3721-9207



*一般的な分光光度計もご利用いただけます。

製造販売元

kikkoman

キッコーマンバイオケミファ株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋2-1-1

TEL: 03-5521-5490 FAX: 03-5521-5498

E-mail: biochemifa@mail.kikkoman.co.jp

URL: http://biochemifa.kikkoman.co.jp